



一般社団法人 電波産業会

Association of Radio
Industries and Businesses

No.1516 2026 年 10 月 19 日

10 月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年 10 月 1 日から 10 月 31 日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を実施しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします(詳細は ARIB ニュース No.1510 2026 年 8 月 31 日を参照ください)。

ARIB の動き

ITU-R WP 5D 第 53 回会合の概要報告

1. 会合の概要

WP 5D(Working Party 5D : 5D 作業部会)は、ITU-R の SG 5(Study Group 5 : 第 5 研究委員会)の下に設置された、IMT(International Mobile Telecommunications : 移動通信システム)の国際標準化に関する検討を行う専門家会合です。

年 3 回程度開催されており、現在の議長は NTT ドコモの新博行氏です。

日 程 : 2026 年 9 月 28 日 (月) ~ 10 月 8 日 (木)

場 所 : スイス・ジュネーブ ITU 本部(Web 会議併用)

参加者 : 73 か国及び各団体/機関から 605 名

日本代表団 : 総務省新世代移動通信システム推進室課長

補佐の堀内康平氏を団長に 33 名が参加

(当会からは西岡理事、佐藤 (拓) 担当部長、

金本主任研究員の 3 名が参加)



会合の様様

2. 主要結果

(1) General Aspects 関連

- ① 報告 ITU-R M.2527(IMT 地上コンポーネントの社会、産業、その他の用途への適用に関する報告書)及び報告 ITU-R M.2480(IMT の特定帯域における IMT システムの導入に関する各国のアプローチ) の改訂について審議が行われ、改定報告案として承認されました。2026 年 11 月の SG 5 へ上程し、承認を求める予定です。
- ② 日中韓からの入力文書をもとに IMT-2030 無線インタフェース提案技術の提出テンプレート等を示す新報告の最終化、IMT-2030 の開発プロセスを示す文書(IMT-2030/2)の改訂、並びに 2027 年 2 月開催予定のワークショップに関する情報を周知

する回章 補遺 3 及び外部機関向けリエゾン文書が承認され、発出されることとなりました。

(2) Spectrum Aspects & WRC Preparations 関連 (WRC-27 議題)

- ① 議題 1.7 では、CPM テキスト案のうち、第 3 章（共用・両立性検討結果の要約）、第 4 章（議題の解決手法(Method)）及び第 5 章（無線通信規則改訂案）について審議が行われました。
 - 第 3 章については、IMT と既存業務との共用・両立性に関する要約 (Summary) の作成が進められました。一部の既存業務に関する要約については合意が得られたものの、国際空域・国際海域で運用される無線局の保護などに関しては合意には至らず、未合意であることを明示した上で CPM27-2 会合において継続検討することとなりました。
 - 第 4 章については、各国から提案された Method が議題の検討範囲に含まれるか否かが最大の論点となりましたが、合意には至りませんでした。このため、第 4 章全体を未合意とし、すべての Method 提案とその提案理由及び懸念事項を整理した上で、CPM27-2 会合において継続検討することとなりました。
 - 第 5 章については、時間不足により実質的な審議は行われず、未合意であることを明示した上で、各国提案が反映されることとなりました。
- ② 地上系 IMT 端末と衛星との直接通信(DC-MSS-IMT)については、DC-MSS-IMT システムによる地上系 IMT システムの保護に関する検討結果の取りまとめが行われました。
 - 地上系 IMT システムの保護に関して以下の事項が整理されました。
 - A) IMT 周波数アレンジメントの考慮
 - B) DC-MSS-IMT の下り送信に対する制限値
 - C) 追加的な規制措置として検討すべき事項
 - 取りまとめ結果の WP 4C への送付方法についても議論が行われました。一部のメンバーから、十分なレビューが完了していない内容をリエゾン文書として送付することへの懸念が示されたことから、WP 5D として合意した検討結果であることを明記した上で、WP 5D 議長から WP 4C 議長宛ての Note として送付することが合意されました。

(3) Technology Aspects 関連

- ① IMT-2030 無線インタフェース提案技術の提出テンプレート等を示す新報告については、日本寄与文書 1 件及び日中韓共同寄与文書 1 件を含む計 7 件の入力文書が審議されました。その結果、提案技術の完全性の定義の更新や、提案技術が満たすべき評価基準をまとめた章の新設等が行われ、新報告案として承認されました。2026 年 11 月の SG 5 へ上程し、承認を求める予定です。
- ② IMT-2030 の開発プロセスを示す文書(IMT-2030/02)の改定については、日本寄与文書 1 件及び日中韓共同寄与文書 1 件を含む計 11 件の入力文書が審議されました。その結果、無線インタフェース技術提案が開発段階で満たすべき基準及び最終的に勧告化されるための基準について合意するとともに、SRIT(Set of Radio Interface Technology)を構成する Component RIT の条件についても規定されました。本文書の改定案は完成し、公表される予定です。

3.次回会合スケジュール

次回会合は、2027年2月に開催される予定です。(開催地未定)

第343回 業務委員会を開催

第343回業務委員会を開催しました。

1. 日 時 : 2026年10月14日(水) 15時30分～16時40分
2. 場所・形態 : 当会第2、3会議室(Web会議併用)
3. 議 題 :
 - (1) 第127回規格会議の結果について
 - (2) IBC2026の概要について
 - (3) 各社からのトピックス
 - (4) その他

ARIB 内会合(10月19日～10月23日)予定

10月21日(水) : 放送国際標準化ワーキンググループ

放送国際標準化 WG&SWG

Web 会議併用

国際会合(10月19日～10月23日)予定

10月19日(月)～10月23日(金) : 第32回 ITS 世界会議 (韓国・江陵)

総務省などからのお知らせ

情報通信研究機構 新技術説明会の開催

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)では、2026年11月12日に「情報通信研究機構新技術説明会」を国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)との共催でオンライン開催致します。説明会では機構で創出された新たな技術の実用化を目的として、技術移転や共同研究にご関心のある企業等関係者の皆様にむけて、研究者自らが直接プレゼン致します。

ご関心のある企業等の皆様におかれましては、お申し込みのうえ、ご聴講いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1.日時 : 2026年11月12日(木) 10:00～11:55
- 2.会場 : オンライン開催
- 3.主催 : JST、NICT

4.参加費：無料（但し、事前の聴講申込が必要です）

5.講演プログラム：

・講演 1（10:00～10:25）

タイトル：「空から見て、言葉で教える ～衛星レーダ画像を自然言語で理解する
地理空間 AI～」

講演者（所属）：小野 文枝 イニシアティブ長

（AI 研究開発推進ユニット AI 研究開発デザインイニシアティブ）

・講演 2（10:30～10:55）

タイトル：「海面変動と船舶の音紋分析で不審船の接近を察知」

講演者（所属）：西村 竜一 副室長

（レジリエント ICT 研究センター サステナブル ICT システム研究室）

・講演 3（11:00～11:25）

タイトル：「室内カメラで捉えたモビリティの測位システム ～モビリティがカメラの
死角に入っても回避行動で判別～」

講演者（所属）：表 昌佑 主任研究員

（ネットワーク研究所 ワイヤレスネットワーク研究センター

ワイヤレスシステム研究室）

・講演 4（11:30～11:55）

タイトル：「海底下の埋設物を検知する電波を用いたセンシング技術」

講演者（所属）：松田 隆志 研究マネージャー

（ネットワーク研究所 ワイヤレスネットワーク研究センター

ワイヤレスシステム研究室）

尚、講演プログラムの詳細、聴講のお申し込み方法につきましては[【情報通信研究機構 新技術説明会のホームページ】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp